

相手を素直に認めよう

信頼できる友だちはなかなか出来ないものです。これは、日常の会話に気を付けないといけない場合があるのです。相手の話をどのように受け止めていますか。素直に受け入れているでしょうか。

電車の中で耳にした会話です。

A「うちの息子、野球をやっているんだ。この間の日曜日に、隣の学校と試合をして勝ったんだ」 B「勝ったの。良かったね。ポジションはどこなの」 A「ピッチャーをしているの」 B「ピッチャーか。私も中学のときにピッチャーをしていて、県大会で優勝したことがあるんだ」 A「そうなんだ。それで息子は将来、プロになりたいと言っているのだよ」 B「それは無理だよ。県大会に出られても、誰もプロにはなれなかった。やめさせたほうがいいよ」 A「だけどね・・・」

この話はよく聞くようなやりとりです。内容はそのとおりで、Bさんの言うとおりのかもしれません。しかし、Aさんは何を言いたかったのでしょうか。Aさんの言いたい話はまだ出ていないのに、Bさんは自分なりに話を進めています。話の苦手な人なら、話すことをやめるでしょう。

Bさんは、私のほうがよく知っていると、結果的にAさんを低めているのです。これではAさんはおもしろくありません。この会話では、二人の間に感じの良い気持ちの交流はできません。相手の話を認め、尊重することです。

意識しないで、自分は先輩だ、よく出来る、よく知っているなど上の立場からものをいう人がいますが、気をつけないといけないでしょう。



クルミの雌花

私の受講生の話

自分を大切にしよう

ある介護専門学校で講義を聞いた受講生の感想文です。

・明るく、感じが良く、聞きやすい話し方をされる原先生が、学生時代は根暗で友だちもいなく、大人になってから「話し方」を学び、一から友だち作りをやり直したという話を聞いて、「話し方」が人の人生を大きく変える力を持っているのだと思った。

・私は、考え方が子供の頃から他の人とずれているようで、同じ説明を聞いても一人だけ違う解釈をしてしまっていた。仕事でも「どうして皆と同じように理解できないの？」と怒られることがよくあった。その度に「どうしていつもそうなるのか」と悩んだり、怒られた原因がわからなかったりした。「自分はだめな人間だ」と落ち込むことも多かった。

・聞き手の決定権の話を知った。同じ説明を聞いても、まわりの皆がそれぞれ全く違う絵を描いているのを見て、自分を責める必要はなかったのではないかと思えた。

・正方形の図を数える問題では、4人の正解者のひとりだった。同じ間違いをしている人も多く、多数が必ずしも正しいとはかぎらないとの解説を聞いて、いつも少数派になってしまう自分に、少し自信を持つことができた。

この感想文を読んでとても嬉しく思ったのです。話し方を知ることにより、今まで悩んでいたことに対して、自信をもって、「自分は自分」と思い、前向きに考えることができるようになった人がいたことです。この人の人生が変わることを願っています。(原)

お詫び 4月の今月の言葉。後半のコラムのタイトルを「自分の経験は信用できる？」と訂正。

2014.5 s.hara

座る席を考えよう

大物と言われる人などが会談するとき、ソファを「ハ」の字型に置き、体が対面するようには置きません。セールスマンも商談するとき、お客様の真っ正面に座らないと言います。面と向かい、目と目があって話をすると、相手を緊張させ、リラックスした雰囲気の中で話を進められないからです。テーブルをはさんで座っても、話の途中に、出来ることならテーブルの横に座り、説明をしたりします。並んで座れるともっといいのですが、親しくないとできません。相手が女性だと気持ちに抵抗感が出て、警戒されることにもなります。

対面でないからといっても話をするので、必要なときには目を合わせることは必要です。楽しく会話をしているのでしたら、自然と目が合い問題はないでしょう。重要な話であったり、相手に信用してもらうためには、目を合わせることは大切です。「目は心の窓」と言います。自分の話を信用してもらうには、嘘でないのだと、目を合わせることで知らせるのです。こちらが、相手の意志を確認するにも、目を見ることは必要です。

相手とどんな話をするのかにより、席を考えましょう。キッチンとした話をするには、テーブルをはさんで話をするのです。楽しい時間をもつときは、ソファに並んで座り、飲み物を飲んで話をすれば、雰囲気もよくなります。



ヒマラヤの青いケシ

私の体験したこと

話し方の知識を深めよう

先日の朝、家の駐車場を通りかかった時、車の後ろのタイヤの異常に気が付いたのです。つぶれていました。昨日まで、普通に乘っていたのにどうしたことかと思いました。出かけるまでに時間があつたので、予備のタイヤと交換しなければと思いましたが。交換しなければ、タイヤを直しにも行けないのです。

それからが大変だったのです。交換する知識はありました。20年ほど前に乗っていた車のタイヤを交換したことがあつたのです。しかし、すっかり忘れていました。

予備のタイヤは、後ろの道具入れの下にあるはずと思っていても、工具箱がはずせません。後ろの座席を倒したりしてやっとの思いではずしました。ありました。ところがジャッキがはずせないのです。これも試行錯誤の末にはずしました。今度は、タイヤをはずすために、はめてあるホイールキャップがはずせないのです。

タイヤを変えなければ、直しに行けません。ホイールキャップははめこんであるだけだと考えていたので、無理矢理はずしました。その通りはめてあるだけでした。今度は、ボルトが固くて、タイヤが空回りするのです。外すのに難儀をしました。悪戦苦闘です。

工具箱もジャッキも爪で動かないように固定してあつたのです。なぜ、取れないのか後で調べましたらわかつたのです。これが分かっていたら、どうということはなく、スムーズに仕事が運んだのに、知らないで、なぜはずせないのだと頭の中は疑問だらけでした。できないのではないか。そのときはどうしたらよいかと大変な思いでした。

知っているのと知らないのでは、事の対処にえらい違いが出てきます。私は話し方での対処でも、そのことを考えています。スピーチの上達も大切ですが、もっと、人との対処方法も考えてみてください。対人関係がもっとスムーズにいき、人生が楽しく過ごせると考えているからです。

(原)

バズセッションとは

話し合いを行う目的は3つほど考えられます。一つは、話し合うことによりお互いの考え方や気持ちもわかり、親しみを感じられ、人間関係が深まることです。二つ目は、話し合う中で、その問題に対する考え、知識が深まり、幅広く検討することができることです。三つ目は、問題に対する解決がはかれることです。

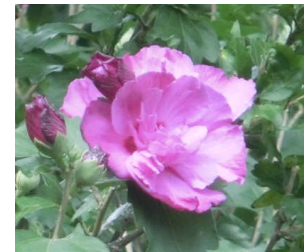
話し合いのねらいにより、話し合いの方法を選択します。バズセッションは一つ目と二つ目に適した話し合いの形式です。

話し合いのすすめ方は、全員を小さなグループに分けます。6人ほどが適当です。それぞれのグループで少ない時間、問題について話し合いを行います。1人1分という場合があります。6人ですから6分話し合うので、6・6式討議と名付けられています。テーマを変えて、話し合いを積み重ねるのです。それで、それぞれのグループで話し合ったことを発表します。

近くで話をするので話し声がワットしている、ハチの巣を思わせるのでブンブン会議とも言います。バズとは羽音の意味です。

特徴は、全員が参加できることです。その中で、各自の意見を知ることが出来るので、視野が広がり、考えが深まります。人間関係も深まります。

友の会の講演会の後での話し合いはバズセッションです。



ムクゲ

私の読んだ本

「ありがとう」

日本一短い手紙を選んでいる、福井県坂井市丸岡町の話はご存じだと思います。徳川家の家臣、本多作左衛門重次が戦場から家族に送った手紙「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」が、日本一短い手紙だと言われています。後に丸岡城主になった本多作左衛門にちなみ、丸岡町が募集を始めたのです。20年続き、2012年のテーマが「ありがとう」です。63,745通の応募があったということです。

たまたま入った古書店で目に入ったので買いました。この本は、「ありがとう」をテーマの手紙を218篇載せているのです。大賞、佳作に選ばれた文をいくつか紹介します。

*「おとうと」へ おかざき まさひこ 小学校3年

まねするな。くつつくな。すぐよぶな。でも、そばにいてくれてありがとう。心強いよ。

いつもくつついてくる弟がわずらわしい。でも、一人では心細いとき、また、何かと気持ちが通い合うとき、心の中で「ありがとう」と言う兄貴。ほほえましい光景です。

*「鬼のようなかーさん」へ 山本 朋加 中学2年

一回しか書きません。口には絶対出しません。普段は絶対言いません。…ありがとう。

子供が、母親にいつも怒られているのに、しかし、腹の中では感謝している。その感謝の気持ちを、恥ずかしくて口には出来ない様子がよく現れている文章です。

*「妻から夫がかくイビキ様」へ 益岡 妙子 63歳主婦

貴方のは、すごいよ。68歳の今『息してる』と、安心です。ありがとういびきさん。

感謝している対象はいびきです。感謝は人に対してばかりではありません。

変な感想ですが、この本を読んで、老若男女が様々なものに感謝の気持ちを持つ日本は大丈夫だと思いました。(原)

フォーラムとは

会合に、フォーラムとかシンポジウム、パネルディスカッションと名付けたものを聞きませんか。先日もフォーラムとはどんな形式の会ですかと聞かれました。

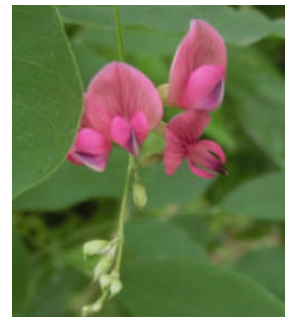
東京国際フォーラムは幕張メッセのような、東京のコンベンションセンターです。また、映画館の名前にフォーラムの文字が入っているものを目にします。これは、フォーラムの名前が古代ローマ時代の集会場や公共広場をさしているところからきています。また、そこで市民が討論を交わしたところでもあるのです。そこで、公開討論会や「世界経済フォーラム」「世界社会フォーラム」などの討論、決定をする場または会をさすこととなります。

ここでは、フォーラムディスカッションの略として使います。知りたいテーマや共通の話題について情報交換しあう会合です。友の会の講演会の後で、お互いが得た知識や感想を述べ合い、交換することはフォーラムの形式です。情報交換して、お互いの知見を高め合うのです。

シンポジウムも、パネルディスカッションもお互いの知見を高め合う場です。

シンポジウムは、立場の違う専門家など数人から数十分の意見の発表があります。それを受け、聴衆から意見や質問を受けて、応答し、そのテーマに対する理解を深めるのです。専門家の間での討議はありません。それに対して、パネルディスカッションは前に出た、立場の違う人たちがディスカッションをして、それを聞いている聴衆からの質疑応答で理解を深めていきます。

目的を達成するために、その場に合った形式を使えるようになりましょう。



ヤマハギ

私が見た光景

ことばと動作

館山のある居酒屋に入りました。魚のおいしい店でお客様も多く繁盛していました。注文をすませ、一人で入っていたのであたりを見回していたのです。斜め前のお客様さんに注文を聞きにきていた従業員、たぶん高校生かなと思われる、は、椅子に座っているお客様の頭の上から、注文を聞き、質問に答え、復唱していました。その光景に、少し違和感を感じたのです。

皆さんは、注文を受ける人の行為をなんと表現しますか。「注文を聞く」と言いますか、「注文を伺う」と言いますか。店構えもよく、客席も多い。テーブルも立派で、料理の値段も幾分高めのお店でした。ここでは、ざっくばらんな話のやりとりの「聞く」より、「伺う」が似合うかなと思いました。

よく見ていると、25歳過ぎの従業員は腰を落とし、片膝を着き、注文を受け取っているのです。これこそ「伺う」にぴったりです。先の若い従業員に教育が行き届いていないのか。教育されていてもまだ身についていないのかは分かりませんが、店の格ににあった対応とは言い難いと考えます。

その場に合う言葉があり、行動があるので。

(原)